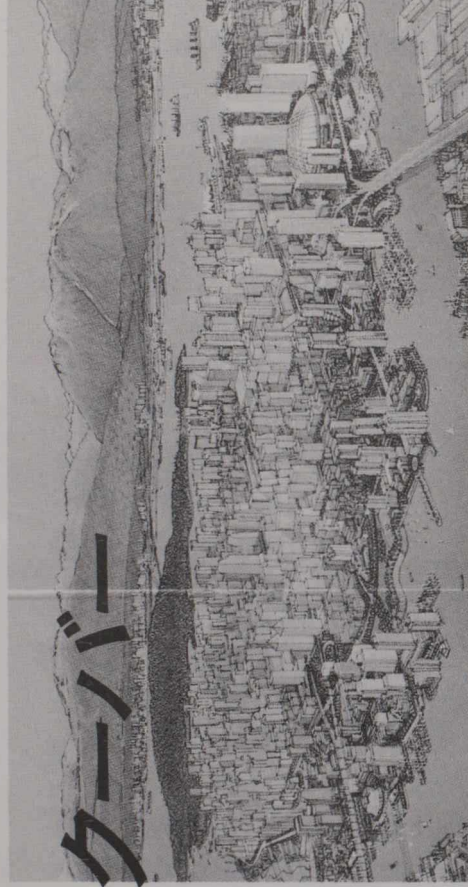


# 生まれ変わる

## バンクーバー



86年のエキスポ（国際博）を控えて、バンクーバーがいま大きく変わろうとしている。新しく生まれつつあるバンクーバーをご紹介します。

### ●都市再開発

バンクーバーでは、すでに市中心部のロブソン・スクエアが、庭園、レストラン、美術館、裁判所などを配置した街に大きく変貌したが、現在さらに二つの再開発計画が進行中だ。

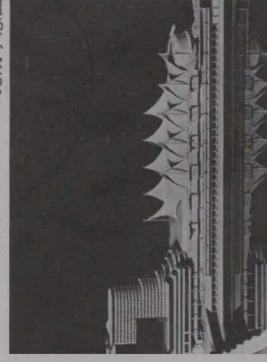
まずバンクーバー港に建設されるカナダ・ブレイス（広場）。エキスポの開催直前に完成する予定のカナダ・ブレイスは、七千人収容の貿易・会議センター（エキスポ開催中はカナダ館として利用される）、遊覧船停泊所、五百室を備えた近代ホテル、通常の三十五ミリ映画の十倍も大きい大スクリーンで映画を見せるIMAX劇場などを、湾から突き出たBC埠頭に配置したもので、完成すればバンクーバーの一大アトラクションになる。カナダ・ブレイスは連邦政府によるバンクーバー湾岸再開発プロジェクトである。

カナダ・ブレイスの主要施設であるホテルとワールド・トレード・センターについては、東急電鉄がデベロッパーとなることで、カナダ・ハーバー・ブレイス公社（CHPC）と同社の間で基本的合意が成立している。基本契約の期限は九月六日だが、東急としては契約したら来年四月に着工する予定。完成したホテルとオフィス・スペースは、東急グループが所有することになる。

もうひとつは、フォールス・クリーク北岸の大再開発計画。これはエキスポ86の会場を用意するとともに、二十五年をかけて大競技場、遊園地、公園、野外劇

場や専門劇場、芸術・科学・技術センター、商業地域、住宅地域などを作ろうというもので、競技場はすでに完成した本紙第四十七号）。

カナダ・ブレイスの完成予想図



二百数十エーカーにのぼるこの再開発地域——BCブレイス——は、バラード入江に近い都心に対して、いわば新都心

となる。バラード入江の南岸に建設されるカナダ・ブレイスとフォールス・クリークの北岸にできるこのBCブレイスは、八六年に完成する予定のリニアモーター駆動の快速電車によって簡単に往き来できるようになる。

そのほか、かつては工場や倉庫、鉄道の待避線が雑然と散らばっていたフォールス・クリーク入口のグランビル島が、再開発によってさまざまな劇場や画廊、エミリー・カー美術学校、工芸品店、公衆市場、レストランなどの建ち並ぶ“文化村”に変身した。

### ●EXPO86

バンクーバーの市制百周年とカナダ横断鉄道の同市到来百周年を記念して開催されるエキスポ86は、会場の準備も進み、また参加予定国も増えて、いよいよ成功への期待が高まっている。

エキスポ86のテーマは「交通と関連通信」。世界各国が、エネルギー・コストの上昇、都市人口の増大といった問題を抱え、一方で交通・通信の技術革新が目覚ましい現在、きわめて時宜にかなった企画といえよう。

エキスポ86の第一の魅力は、まさにこの点にある。カナダは、その広大な国土を克服し、東西約六千キロに拡散して住む国民の統一を図るためにも、歴史的に輸送と通信には特別の関心を払ってきた。この特性は、現在、カナダの技術をいかしたさまざまな輸送手段や輸送機器、あるいは通信機器や世界的に評価の高いニューメディアにも、よく表われている。



エキスポの主会場となるフォールス・クリーク北岸

もちろんカナダ以外の諸国も、輸送と通信には力を入れており、カナダは各国が製品や技術の紹介にエキスポ86を利用するよう呼びかけている。これまでに、英国、米国、サウジアラビア、インドネシア、オーストラリア、フランス、スペイン、ペルーなど、十六か国が参加を表明している。